

|   |   |
|---|---|
| <p>第一課 一〇月一日<br/>ああ、お前は天から落ちた／明けの明星、曙(あけぼの)の子よ。お前は地に投げ落とされた／もろもろの国を倒した者よ。<br/>イザヤ 一四ノ一二 新共同訳</p>  | <p>第八課 一月一九日<br/>その証しとは、神が永遠の命をわたしに与えられたこと、そして、この命が御子の内にあるということです。御子と結ばれている人にはこの命があり、神の子と結ばれていない人にはこの命がありません。<br/>Iヨハネ 五ノ一一、一二 新共同訳</p>                             |
| <p>第二課 一〇月八日<br/>このようなわけで、一人の人によって罪が世に入り、罪によって死が入り込んだように、死はすべての人に及んだのです。すべての人が罪を犯したからです。<br/>ローマ 五ノ一二 新共同訳</p>  | <p>第九課 一月二六日<br/>あなたたちは聖書の中に永遠の命があると考えて、聖書を研究している。ところが、聖書はわたしについて証しをするものだ。<br/>ヨハネ 五ノ三九 新共同訳</p>  |
| <p>第三課 一〇月十五日<br/>主なる神は、土(アダマ)の塵(ちり)で人(アダム)を形づくり、その鼻に命の息を吹き入れられた。人はこうして生きる者となった。<br/>創世記 二ノ七 新共同訳</p>   | <p>第一〇課 二月三日<br/>すべてを吟味して、良いものを大事にしなさい。<br/>Iテサロニケ 五ノ二一 新共同訳</p>  |
| <p>第四課 一〇月二二日<br/>信仰によって、アブラハムは、試練を受けたとき、イサクを献げました。つまり、約束を受けていた者が、独り子を献げようとしたのです。……アブラハムは、神が人を死者の中から生き返らせることもおできになると信じたのです。それで彼は、イサクを返してもらいましたが、それは死者の中から返してもらったも同然です。<br/>ヘブライ 一一ノ一七、一九 新共同訳</p> | <p>第一課 二月一〇日<br/>だが、驚くには当たりません。サタンでさえ光の天使を装うのです。だから、サタンに仕える者たちが、義に仕える者を装うことなど、大したことではありません。彼らは、自分たちの業に応じた最期を遂げるでしょう。<br/>IIコリント 一一ノ一四、一五 新共同訳</p>                   |
| <p>第五課 一〇月二九日<br/>イエスは言われた。「わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は、死んでも生きる。生きていてわたしを信じる者はだれも、決して死ぬことはない。このことを信じるか。」<br/>ヨハネ 一一ノ二五、二六 新共同訳</p>   | <p>第二課 二月一七日<br/>どうか、平和の神御自身が、あなたがたを全く聖なる者としてくださいますように。また、あなたがたの霊も魂も体も何一つ欠けたところのないものとして守り、わたしたちの主イエス・キリストの来られるとき、非のうちどころのないものとしてくださいますように。<br/>Iテサロニケ 五ノ二三 新共同訳</p> |
| <p>第六課 一月五日<br/>そして、モーセが荒地野で蛇を上げたように、人の子も上げられねばならない。それは、信じる者が皆、人の子によって永遠の命を得るためである。<br/>ヨハネ 三ノ一四、一五 新共同訳</p>  | <p>第三課 二月二四日<br/>なぜなら、わたしたちは皆、キリストの裁きの座の前に立ち、善であれ悪であれ、めいめい体を住みかとしていたときに行ったことに応じて、報いを受けねばならないからです。<br/>IIコリント 五ノ一〇 新共同訳</p>  |
| <p>第七課 一月二二日<br/>わたしは、その方を見ると、その足もとに倒れて、死んだようになった。すると、その方は右手をわたしの上に置いて言われた。「恐れるな。わたしは最初の者にして最後の者、また生きている者である。一度は死んだが、見よ、世々限りなく生きて、死し陰府(よみ)の鍵を持つている。」<br/>黙示録 一ノ一七、一八 新共同訳</p>                     | <p>第一四課 二月三二日<br/>すると、玉座に座っておられる方が、「見よ、わたしは万物を新しくする」と言い、また、「書き記せ。これらの言葉は信頼でき、また真実である」と言われた。<br/>黙示録 二ノ五 新共同訳</p>  |